

ハイクイベント

「島原半島縦断トレイルハイク」

Newsletter Vol.2

制作：(一社)九州自然歩道フォーラム



事業の目的

九州自然歩道は、1980年に全線開通した、日本のナショナル・ロングトレイルです。全長3,000kmのトレイルは、自然や歴史、文化を色濃く残す地域を巡っています。今回の事業では、その中でも長崎県に位置する島原半島コース約60kmはハイライトとなる場所。環境省は「国立公園満喫プロジェクト」により、国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化、インバウンド誘致を目指しています。ロングトレイルは、世界的にも広がりつつあり、近年話題のアドベンチャーツアーとも親和性が高く、これからのアウトドア文化として期待が寄せられています。

ハイクイベント

「島原半島縦断トレイルハイク」

〔イベント目的〕

前年度調査したコースデータをベースに、初心者でも踏破しやすい企画で、ゲストを招いて、島原半島の九州自然歩道の周知へつなげるイベントを開催。

〔概要〕

口之津を起点に1泊2日で雲仙温泉街を目指す南部編。雲仙温泉街を起点に1泊2日で千々石を目指す北部編と、2回に分けて、ハイクイベントを実施。



日程	行程	歩行距離
10月19日(土)	口之津港～玉泉寺～金比羅神社～論所原エコパーク(テント泊)	21km
10月20日(日)	論所原エコ・パーク～高岩山～小地獄～雲仙温泉街	11km
10月22日(火)	雲仙温泉街～第二吹越～田代原キャンプ場(テント泊) *雨天のため、妙見登山及び九千部登山道は行かず	8km
10月23日(水)	田代原キャンプ場～千々石断層～橋神社～千々石海岸 *温泉鉄道浜駅跡まで調査済みだが、バス乗車の都合で千々石海岸をゴールに設定	10km

〔ゲスト〕



土屋智哉氏 ハイカーズデポ オーナー

ジョン・ミュア・トレイルのスルーハイク後、2008年ハイキング専門店ハイカーズデポを開業。ULハイキングと長距離ハイキングの魅力を各種メディア、イベントなどでも発信。海外トレイルをはじめ、国内でも奥多摩から北アルプスを繋げる山岳ハイキング、みちのく潮風トレイル、東海自然歩道等を歩く。著書に「ウルトラライトハイキング」(山と溪谷社)。



田中陽希氏 アドベンチャーレーサー

体育教員を目指す傍らアドベンチャーレースと出会い、冒険へと人生の方向転換を図る。2014年、前人未到の挑戦として、南は屋久島、北は利尻島までの「日本百名山ひと筆書き」を達成。2015年「日本2百名山」、2018年から計301座を繋ぎあわせる集大成のプロジェクト「日本3百名山ひと筆書き～Great Traverse 3～」を2021年8月2日に完遂させた。

〔開催体制〕

- 〔主催〕(一財)自然公園財団雲仙支部 (一社)九州自然歩道フォーラム
- 〔協力〕環境省雲仙自然保護官事務所 キッチンハイク九州 (株)ダイスプロジェクト
- 〔後援〕長崎県 雲仙市 南島原市 (一社)雲仙観光局
- 〔協力〕MOUNTAIN JAM MIYAGEN Trail Engineering Hopheads Hiking Club

イベントレポート

〔10月19日・口之津港～論所原エコパーク〕

口之津港からの始まりは小雨。海沿いから雲に隠れた雲仙を目指して歩き始めます。参加者はハイカーが多く、バスの中で自己紹介したときの話題でお互い話し始めていました。少しずつ上りながら、港町から農村地帯への風景を味わっていきます。土屋さんから、登山とは違った"歩く旅"の楽しみ方を伝えてもらいながら歩いていきます。玉泉寺でお昼ご飯。本殿とトイレをお借りして、ひとときの休憩。ここから、古い峠道を歩き、諏訪の池近くの日本最古の墓地・原山ドルメンへ。公園としてトイレや水場が整備されています。ここからラストスパート、金比羅山を越えて、山道を抜けると論所原です。

各自テントを張り、焚き火を囲んで夜ご飯。キッチンハイク九州の協力で、長崎産トマトを使ったトマトチキン鍋&パスタ、長崎和牛、雲仙ハムを味わいました。

〔10月20日・論所原エコパーク～雲仙温泉街〕

朝から快晴の中、朝食を済ませ、論所原を出発。焚き火を囲んだ仲になり、和気藹々と話しながら木漏れ日溢れる歩道を歩いて、塔ノ坂地区へ。小さな集落の里山暮らしを見ながら、地域の端っこにある登山口から高岩山を登ります。西側登山道はなかなか急登で踏ん張って登ります。そして山頂へ！展望はバツグンで、口之津から歩いてきた道のりを一望。自然歩道がっつり天草諸島や普賢岳山系も望めました。歩く旅で使用するギアやバックパッキング術など、土屋さんの経験も伝授。宝原園地へ下り、小地獄温泉館から古い峠道を越えて、雲仙温泉街に到着しました。

〔10月22日・雲仙温泉街～田代原トレイルセンター/キャンプ場〕

田中陽希さんをゲストに1泊2日北部編を開始。すぐに雨が降り出して、妙見岳登山や九千部岳登山道はかなり滑りやすくなるため、予定を変更。池の原園地から国道389号線を歩いて吹越トンネルへ。雨は強くなったりやんだりと落ち着かない様子。キャンプ場へ一心に歩いていきました。



田中陽希さんから密接にお話を伺うことができました。

予定より早めにキャンプ場へ到着し、管理棟の広間をお借りして、陽希さんを囲んで座談会。歩いている最中に聞けなかった話や、身体の使い方・メンテナンスの話などなど。雨が落ち着き、各々テントを張って、夕食の時間。今回は、雲仙市のブランド食材「あかね豚」と「雲仙牛」を用いた焼肉。他にも島原半島産のなすやズッキーニ等、そして、千々石町の棚田の炊きたて新米を準備。現地の食材を味わうのもロングトレイルの魅力の一つであり、参加者に島原半島の食を体験してもらいました。

〔10月23日・田代原～千々石海岸〕

翌朝はどんより曇り空。パッキングを済ませ、田代原を出発。島原半島のつけ根に位置し南部が沈降したことで形成された千々石断層。田代原から弘法原までの東西約5.8kmの散策路で、森の中を心地よく歩ける道です。石段も多く、古くから使われている道と分かります。陽希さんとゆっくり話す時間もあり、前日の身体の動かし方や歩き旅での食事やギアなどなど、質問がたくさん出ました。弘法原から下山し、千々石町へ。橋神社で参拝し、古い商店街の通りを抜けるとついに海岸！少しずつ晴れてきて、残り1kmちょっとを歩ききり、千々石海岸でゴール！山歩きとはまた違った、長く歩く旅を実感いただき、これから先も道が続くことを紹介し幕を閉じました。



里山を楽しみながら歩くことができました！



心地よい歩道を雲仙普賢岳を目の前に進んでいきます。



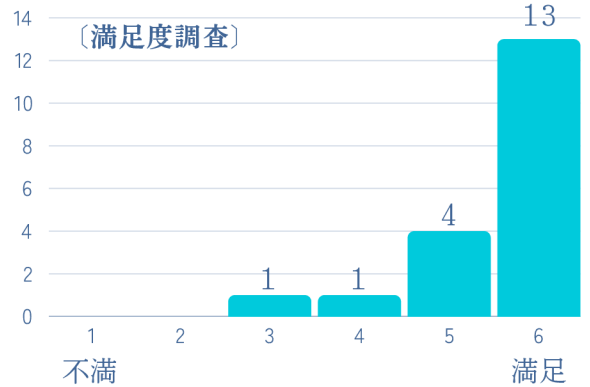
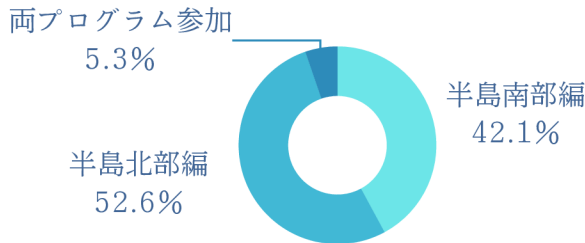
皆様のおかげで最後のゴールのときは快晴！

アンケート結果

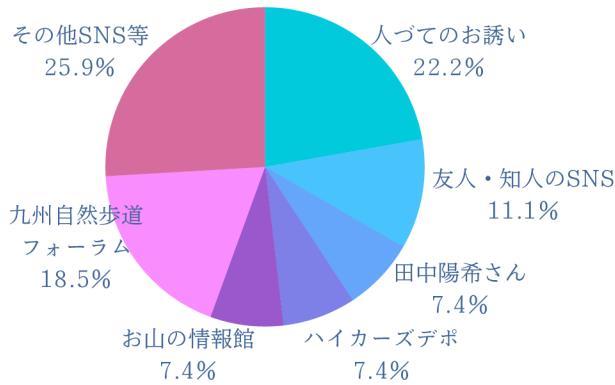
- 参加者特性 ◇参加者数：32名(南部編15名、北部編14名、南北部3名) ※キャンセル6名
 ◇平均年齢：南部編46歳 北部編54歳
 ◇お住まい：福岡県、長崎県、熊本県、大分県、岡山県、東京都、千葉県

イベント終了後、アンケートのご協力をお願いし、参加者32名中19名よりご回答いただきました。

〔ご回答いただいた方の参加プログラム〕 ▼



〔本イベントを知ったきっかけ(複数回答可)〕 ▼

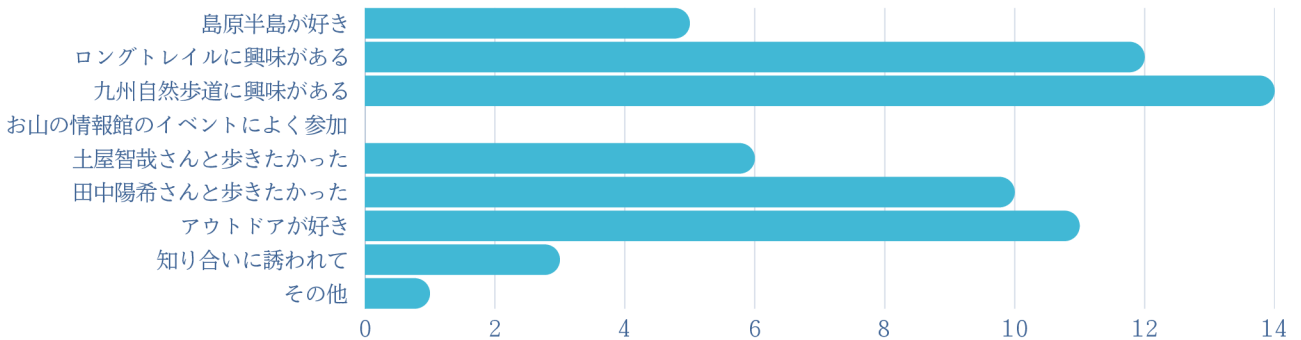


その他SNS等

- ・インスタでたまたま拝見
- ・マウンテンジャムさんのインスタ
- ・福島さんのFB
- ・ながさき健康づくりアプリ歩こーで
- ・九州自然道を検索中、貴HPを見つけイベント開催を知った。

様々な媒体でまんべんなく集客ができたと思われます。九州自然歩道のイベントのため、フォーラムSNS等での集客も多いことが特徴として挙げられます。

〔参加したいと思ったきっかけ(複数選択可)〕 ▼



〔今回のハイクイベントで良かった点(抜粋)〕

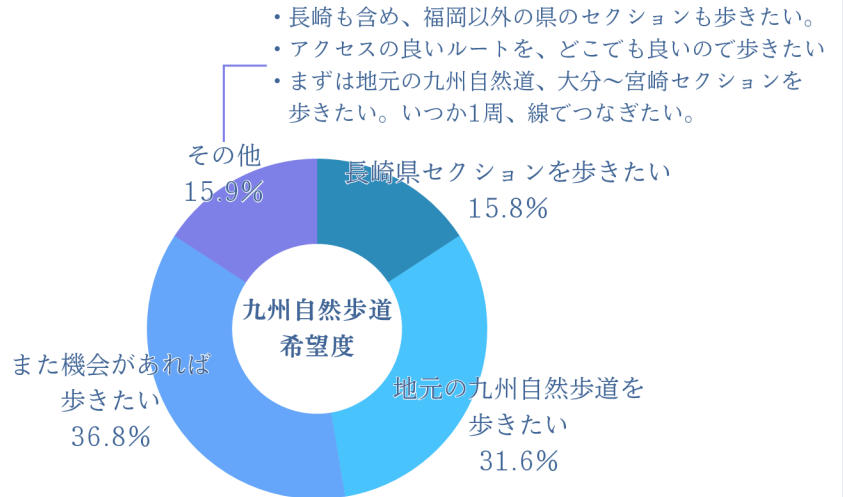
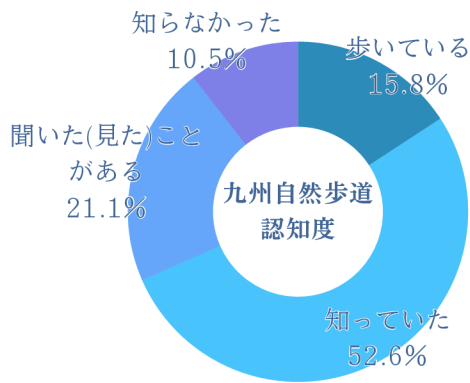
回答が多かったのは、ゲストと歩けたこと、ガイドやサポートが充実して安心して楽しめたことが挙げられていました。サポートとしては、地元情報の提供、スタッフからの話しかけ、テントレンタル、荷物預かり等がありました。また、参加者同士の交流、スタッフとの交流も良かった点に挙げられており、地元産の炊きたて新米や雲仙ハム、塩やタレのこだわりも満足いただき、企画・進行ともに評価いただいたことが伺えました。

- ・多くのサポーターが存在しており安心感があった。ゲストとの触れ合いの時間が多かった。ゆる過ぎずキツ過ぎず適度な進行が良かった。サポーター初め参加者の方々との触れ合いも楽しく、初日、土砂降りにも関わらず終始楽しめた。トレイルの地図やマウンテンジャムさんのクッキーとカラビナを頂いたのも嬉しかった。お土産沢山!!
- ・色んな方たちと交流が図れ、トレイルに関する新たな知識、これまでと違った視点や考え方を学ぶことができた。
- ・通してあるけた点
- ・九州自然道の一部を歩けたこと、どしゃ降り山行はソロではまずできないし、安心してレインだけで歩いて楽しかった。
- ・お土産グッズ、帰宅しても山行の余韻を味わえてよかった。
- ・九州自然歩道を体感できた。

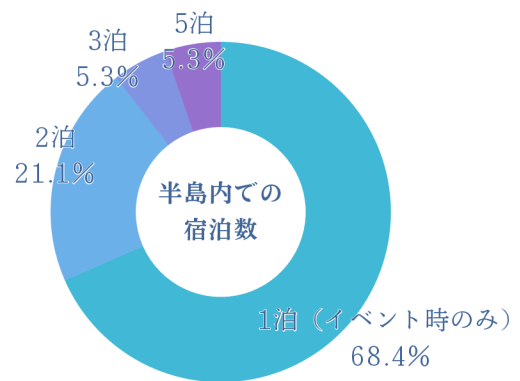
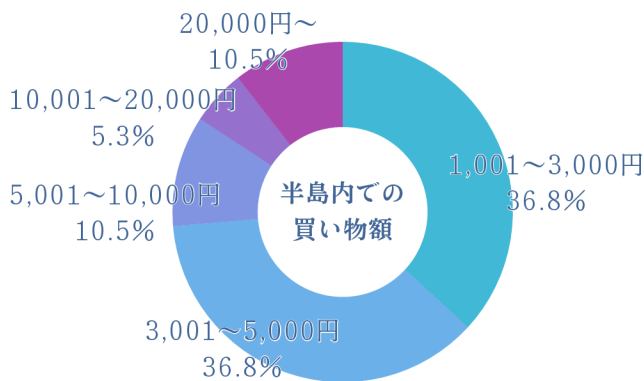
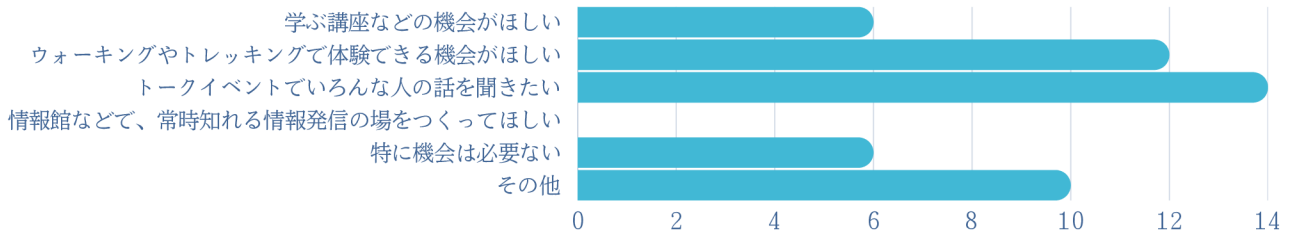
〔今回のハイクイベントで改善してほしい点(抜粋)〕

田代原キャンプ場の温水シャワーのスイッチがつかず、水しか出ないこと。また到着時のレインコートの扱い、2階での待ち時間など、流れの説明が不十分だったことが挙げられていました。ガイドへ植物や道の質問をした際に答られないことや道を間違えたこと等も改善点として書かれていました。

- ・思った事は生活道を多く歩きゴミが目立つ事があった。イベントの中で1人1つでも拾うことが出来たなら、みんなで守る意識ができ、より九州自然歩道を好きになれるのかもしれない。
- ・レギュレーションに「長ズボン必須」となっていますが、実際には多くの方が「ハーフパンツ」を着用されていたこと。これなら「動きやすい服装」とだけ記載されていたほうが良かった。
- ・夕食の時陽希さんを囲んでワイワイできたんですがやっぱり疲れた身体を癒すのに食事は大事と思うのでもう少し広い場所の方が良かったかな。
- ・当日いただいた、観光資料を事前にメールで送っていただけたら、もう少し観光出来たか、或いはもう一泊を考えたかもしれません。



〔九州自然歩道について、知ったり体験する機会は?(複数選択可)〕 ▼



〔開催してほしい九州自然歩道イベント(抜粋)〕 ▼

- ・今後も平日開催を継続して欲しいです。
- ・各県のオススメコース体験
- ・実際に歩いてる人のトークイベント。
- ・ゲストと歩くイベント
- ・大分～宮崎、人吉・球磨のハイク
- ・登山道整備
- ・各県で同じように開催されれば嬉しい
- ・他県も土屋さんと一緒に歩きたいです。
- ・花の咲く時期に合わせたトレッキング

〔その他ご意見感想(抜粋)〕 ▼

- ・Googleマップなどでのコースの案内があれば良い
- ・九州自然歩道のポテンシャルの高さを実際に歩いて知り、その魅力にハマってしまいました。早速陽希さんと歩いた続きを踏破する計画を練っています。
- ・九州自然歩道という素晴らしいトレイルがあるのに活用されていないことに勿体無さを感じた。
- ・島原の方の語り口にほっこりしました。
- ・安心して九州自然道をひとが歩けるようになると思います。登山道整備やそれに関連することがあれば参加したいです。いつか、九州自然道の線をつなげたらいいな。